

会議名称	令和3年度第3回平塚市スポーツ推進審議会
日時	令和4年(2022年)3月17日(木) 10時分から11時まで
会場	平塚市役所本館 5階 519会議室
委員数	14名
出席者 委員	12名 陶山正明、粟生光一、高橋佳久、首藤幸子、鈴木登喜雄、高橋篤、野村泰弘、守屋勝教、畔柳豪、今村佳広、井上純一、青木あい
出席者 事務局	6名 吉野教育長、平井社会教育部長、佐野スポーツ課長、奥脇課長代理、天瀬担当長、的場主任

1 あいさつ

陶山会長よりあいさつ

吉野教育長よりあいさつ

事務局より、委員の定数14名に対し、本日の出席者は12名であり、委員の出席が過半数を超えており、平塚市スポーツ推進審議会規則第4条の規定に基づき、本会議が成立している報告がされた。

事務局より、傍聴人はいない旨報告がされた。

2 議題

【報告事項】

(1) 令和3年度スポーツ課事業実施状況について

【事務局】

資料1に基づき説明をさせていただきます。令和3年度は本来ならば、オリパライヤーのため、日本中がスポーツに沸いて、本市でも6月からリトアニア共和国の選手団が訪れ、様々なイベントが実施される予定でしたが、コロナの影響がありました。スポーツ課でも何とか対策を講じながら事業を実施できないか、また、これまでの事業が、コロナ禍において、実施できる、できないだけでなく、市民がスポーツに触れる、楽しむ機会につなげるために、今ある材料で何かできることはないかを考える1年だったように思います。令和3年度のスポーツ事業につきましては、事業が中止となる中、7月末から8月にかけて開催した少年野球大会、それから、12月4日トッケイセキュリティ総合体育館で開催したねんりんピックのリハーサル大会、それから、同じく12月19日に開催しました、これまで

ですと会場を分散して、陸上、バスケットボール、卓球教室を実施していましたが、それも競技を統合し、今回東海大学を会場に、改めて陸上と水泳とバスケットボールの3競技の教室を同時に開催していただき、市民大学交流スポーツフェスタという新たな試みとして行いました。年間通じて、この3事業のみとなってしまったのは非常に残念ですが、比較的大きな3事業を実施することができました。いずれにせよ、コロナの状況が落ち着いてきたタイミングであったということもあります。あとそれから実施にあたっては、大会当日の感染対策も含め、そうした運営方法等、関係者と協議を十分行っています。新型コロナウイルスの感染対策が当日にむけてどのように必要なかの検証すること。また、こうした中で得た関係団体等との繋がり、大会実施のノウハウ獲得といった面でも事業を実施することの意義、また成果を改めて感じたところです。予定表1月に市内駅伝競走大会の記載があります。例年通りの開催方法ですと、中継所や沿道応援などの密の状態は避けられないことから、実行委員会で中止が決定した事業であります。しかし、地域の選手の「走りたいたい」という声、また2年連続中止の状況において、今後市内駅伝大会を継続して続けていくためにも、何とか開催できないかと体育振興会や、陸上競技協会等の関係者と幾度となく検討調整をさせていただき、市民ショートマラソンというタイムレース形式で実施することになり、広報で選手募集するまでに至りました。前年度オミクロン株の急拡大で中止という結末にはなりましたが、関係団体の皆さんと協力しながら開催に向けて前向きに取り組むことができた事例として、照会をさせていただきます。その他の取り組みとしましては、資料にはございませんが、オリパラ関連の事業への参画、それから、市役所1階スペースでの来庁者向けのポッチャ体験、こちらは推進委員の皆様にご協力をいただいた事業です。それから、このオリパラのタイミングで生じた事業だと思いますが、金旭中学校、それから中央公民館、また地域から、ポッチャ競技を絡めた共生社会の実現にかかる講義や体験教室する機会をいただき、スポーツ課職員を派遣し、事業をやらせていただきました。また、スポーツ関連情報のスポーツナビへの掲載なども取り組んでございます。スポーツ担当の取り組みとしては以上になります。続いて施設担当に関わる事業についての、令和3年度の報告をさせていただきます。

特に資料は用意しておりませんが、令和3年度の報告をさせていただきますと思います。まず、学校体育施設開放事業について、令和3年度については、4月から8月までは、利用時間や活動内容に制限を設けながら開放を実施し、その後緊急事態宣言が解除され、令和4年1月のまん延防止等重点措置区域に指定されるまでは、利用制限を設けながら実施し、1月22日から現在まで利用中止となっております。続きまして、小学校プール開放事業についてですが、こちらは学校での水泳事業の中止に伴い、令和3年度も開放中止といたしました。続きまして手話ダンスによる健康づくり事業について。こちらは令和3年度各小学校の募集をかけた結果、9校の申し込みがあり、そのうち1校で実施を予定しておりましたが、当該の学校において新型コロナウイルスが拡大したため中止となりました。続いてスポーツ施設活用事業についてです。市民スポーツ活動の普及発展のため、各

種スポーツ施設、桃浜町軟式庭球場、王御住運動広場、大神運動広場、夜間照明施設の維持管理運営を行いました。さらに土沢スポーツ広場活用事業について、令和3年度はパークゴルフ場については、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため1日券の販売停止、1人当たりのラウンド数の制限、更衣室やロッカーの利用停止等の利用制限をとりながら、開場いたしました。以上です

【会長】

はい、ありがとうございました。皆さまから、今の報告に対してご質問がありましたらお受けしたいと思えますけど、いかがでございましょうか。このような状況の中ですから仕方ない部分があったと思えますけども、残念な状況でありました。令和4年度は何とかして欲しいと思えます。それでは引き続いて、議題2の協議事項1の令和4年度予算ならびに実施予定事業についてということで、事務局からご説明をお願いします。

2 議題

【協議事項】

(1) 令和4年度予算並びに実施予定事業について

【事務局】

令和4年度予算ならびに実施予定事業についてということで資料2-1、2-2は予算の説明の資料となっております。資料はありませんが、最初に令和4年度の本市財政の状況を簡単に説明させていただければと思います。令和4年度は、感染症の影響から歳入の根幹になる市税の減収が懸念されているなか、社会保障費、公共施設の老朽化等に加え、感染症対策の継続的な需要があることから引き続き厳しい財政状況であると言われております。こうした財政状況において本市では総合計画を着実に進めつつ、引き続き感染症対策や収束した後の地域社会のデジタル化推進、AI議事録システムを利用しているのも行政のデジタル化の一つの取り組みです。こうしたデジタル化の推進を行い、今後新たな日常の構築を掲げて取り組むこととしてございます。スポーツ課の事業はどうかということで、改めて資料の令和4年度のスポーツイベント等行事予定表(案)で説明して参りたいと思えます。令和4年度に新たに実施するイベントが大きく二つございます。9月SOMPOボールゲームフェスタ2022。それから、11月にあります、ねんりんピックかながわ2022ひらつか大会です。SOMPOボールゲームフェスタは、一般社団法人日本トップリーグ連携機構、平塚市教育委員会、平塚市体育協会の三者連携で開催します。子ども向けの大型イベントです。サン・ライフアリーナを会場としまして、一日の日程で遊びながらスポーツの楽しさ、魅力をトップアスリートと一緒に体験するイベントとなっております。一般社団法人日本トップリーグ連携機構からトップアスリートが派遣されてくるという中で進めていこうと

いう取り組みになってございます。全小学校を通じて参加者の呼びかけを行う予定です。続きまして、ねんりんピックかながわ2022平塚大会です。こちらが今年度リハーサル大会を行わせていただきましたが、令和4年度は本大会ということで、11月12日から14日までトッケイセキュリティ総合体育館を会場に行います。全国から集う選手による囲碁とスポーツウエルネス吹矢の2競技の交流大会、それから県が強く押している未病改善に関わる健康福祉に関するイベント、本市をPRするブースを設置する予定です。また、市民向けには、ねんりんピックを開催することによる、スポーツに対する気運の上昇に繋がるよう、ねんりんピック開催のPR、それからここで吹矢の団体等との交流、繋がりができますので、吹矢体験会等も、今後企画していきたいと考えているところでございます。続きまして、例年実施しているイベントでございますが、市内全地域を対象として開催しているものとしましては、以前よりお話をさせていただいてきました、夏の暑い時期をずらして秋の開催となります市民総合体育大会です。ねんりんピックの開催と時期が被ってしまっている状況ですので、10月31日から11月6日いずれも日曜日の開催を予定してございます。それから市内駅伝競走大会ですが、こちらを年明け1月8日に開催する予定です。それ以外のところだと、少年少女を対象とするイベントとしまして、7月後半に少年野球大会。それから、8月に水泳大会。10月に剣道大会。そして3月にマラソン大会を実施いたします。続きまして、スポーツを通じた共生社会の推進に資する取り組みとしまして、パラスポーツフェスタ、こちらを10月16日に開催する予定です。その他、市民大学交流の一環で12月東海大学を会場としますスポーツフェスタ。今期やらせていただいたものを少し発展させながら進めたいと考えております。また、まちづくり財団とスポーツ5団体共催で、平塚市民スポーツフェスティバル、こちらが3月26日に開催の予定となっております。行事予定表の上部に米印で記載をさせていただいておりますが、本市は4月1日をもちまして市制90周年を迎えます。そうしたことからスポーツ課のイベントについても、可能な限り市制90周年記念の冠事業として開催をさせていただきたいと考えてございます。長くなりましたが、最後にパラスポーツに関してお話をさせていただきたいと思っております。本市はパラスポーツフェスタのほか、県内でも先駆けてボッチャの体験や大会を開催して参りました。令和3年度の事業報告のところでも触れましたが、ボッチャ競技を中心に、体験会の開催、物品借用への依頼が非常に増えている状況でございます。令和4年度は、オリパラが令和3年度に開催されたため、そのレガシーとして、スポーツを通じた共生社会の推進が求められてございます。実は、24時間テレビが実施しております、ボッチャ競技のボール、それからコート、障がい者用の補助用具となるランプスの寄贈について、申請したところ、寄贈いただけることが決まりました。寄贈時期については来年度中を予定しておりますが、そういった状況を踏まえると、ぜひとも令和4年度は、ボッチャを中心に、パラスポーツに力を入れて取り組んでいきたいと考えているところでございます。続いて、資料の2-2予算についてご説明をして参ります。スポーツ担当と施設担当と予算執行の担当が異なっている部分がございますので、最初にスポーツ担当の部分から説明をさ

せていただければと思います。よろしく申し上げます。最初に歳入です。スポーツ担当は資料の3段目、21雑入としまして、大会のプログラムへの広告掲載料が該当してございます。市総体、それから各種大会と合わせて3万9000円の広告料をいただきたいというふうを考えているところです。スポーツ担当の歳入については以上となります。続いて次のページ、保健体育費、保健体育総務費というものになりますが、これは保健体育庶務事業です。こちらについては、特に大きな変動はないのですが、この後ご説明をさせていただくのですが、令和4・5年度でスポーツ推進計画の改定を予定してございます。その中で、スポーツ推進計画の改定に係る市民アンケートを実施させていただきたいというところから、増額になっているということでございます。庶務的な事業、それからスポーツ情報ポータルサイトの運営にかかる経費がこちらで行っているものです。続きましてサッカー文化の振興のまちづくり事業ということで、湘南ベルマーレスポーツクラブが小学校巡回授業、トレセンへの派遣、親子サッカー教室等、取り組まれている事業に、市から補助をするという形で支援をさせていただいている事業で、予算は変わりません。続きまして市民総合体育大会開催事業ということで、先ほど申し上げた通り、時期を11月にずらして可能な限り例年通り実施したいということです。予算の変動につきましては、夏から秋になったことで、空調代が浮きました。その分を令和3年度実施できなかったトリムバレーボールを実施したいと考えているところでございます。続きまして各種スポーツ大会開催事業です。こちらについては先ほど申し上げた通り、概ね例年通りの実施になりますが、かながわ駅伝が2年中止となっておりましたが、来年度、また再開することが決まりました。会場については丹沢湖周回コースとなります。具体的には詳細が出ていないものですから、また改めてご案内をさせていただければというふうに思います。各種スポーツ大会開催事業については以上となります。それから、ねんりんピックかながわ2022開催事業です。こちらについては先ほど申し上げましたが、令和4年度が本大会の開催にあたることから、囲碁、吹矢の交流大会関連イベントなどに、かかる経費を682万円増額して、実質894万円が市の単独予算で、さらに県から補助金がありることになっておりますので、合わせて2000万円規模でこの事業は実施していくこととなります。続いてスポーツ推進審議会運営事業でございます。本日実施しているスポーツ推進審議会、これにかかる報償費の予算です。同額を予定してございます。それから、スポーツ推進委員活動事業ということで、こちらについては、推進委員の研修事業、それから、今回、2年の更新年度に当たることからユニフォーム代等を増額させていただき、このような予算をつけさせていただきました。スポーツ担当の予算についての説明は以上となりますので、続いて施設担当から説明がでございます。

それでは、続いて施設担当の、予算の説明をさせていただきます。まず歳入についてですが、使用料および手数料というところで、体育施設は敷地内にある電柱や自動販売機の設置に伴う使用料となっております。使用料及び手数料というところで、こちらは各施設の使用料となっております。3194万円となっております。歳出については、9番、学校体

育施設開放事業というところで、651万4000円となっております。10番、小学校プール開放事業というところで、1809万円となっております。こちら増減額は39万6000円というところで、こちらは最低賃金の改定にともなう人件費の増額によるものです。続いて11番、手話ダンスによる健康づくり事業というところで、20万円計上しております。次にスポーツ施設活用事業というところで16万2000円となっております。こちら増減額は4000円となっております。こちら主に先月の1日から、公共施設予約システムから予約できるスポーツ施設の施設使用料について、各種のキャッシュレス決済でお支払いできるようになりました。こちらはキャッシュレス決済の収納代行手数料等の増額によるものとなっております。最後に土沢スポーツ広場活用事業について、4000万円計上させていただいております。以上です。

令和4年度予算並びに実施予定事業について、説明は以上となります。よろしく願いいたします。

【会長】

今いろいろご説明いただきましたけども、これから質問をお受けしますけども、ちょっと私の方から質問してよろしいでしょうか。背景には私の希望という部分があるので、ある意味個人的な質問かもしれませんが資料2-1、各種大会の回数が例えば6月の第70回市民ニュースポーツ大会というのは、令和3年度はありませんけども多分第69回だったと思います。7月、第59回の少年野球になっていますが、前年度は58回ということで、私は何を申し上げてるかということ、他の事業は中止になっても持ち越しではない形で次に進んでいますよね。その中で、第70回の市民総合体育大会、今年は70回、これは記念だからこういう形にしたのかなと思います。この10月30日と11月6日と、10月11月に重ねて開催するということですね。市内一周駅伝大会は回数ではなく年度ですね。それからマラソン、市民スポーツフェスティバル等も次に持ち越しではなく別の数字になっていますが、なにか決まりがあるのでしょうか。

【事務局】

先ほどお話の中でもありました通り、七夕が回数を持ち越し、同じ回数を使ったように、記念になる大会については基本数字を持ち越す形をとらせていただきたいということで、市総体については一度中止になりましたけど、そのまま使わせていただきたいと考えております。それ以外事業はコロナ等、様々な理由から中止になったことも含めて、記録を残したい部分もあるので、極力、持ち越さないで回数はそのまま続ける形でやらせていただいたと考えております。そして、市内駅伝競走大会については、実はこの競走大会が、地区対抗と実業団と2つにわかれており、それぞれ回数が異なるためここは変えておりません。以上です。

【会長】

5月に行われる子ども大会が、持ち越しになっています。市の指示としては、持ち越しと言われている中、地域の事業もすべて中止になったので、確認をさせていただきました。改めて議員の皆様方に資料2-1、2-2にかかりますので、まず2-1から、改めて資料のとおり事業が計画されたということで、ご質問いただきたいと思います。ご質問というより、ご意見あればと思いますけど、いかがでしょうか。

【委員】

2-1の資料の9月3日SOMPOボールゲームフェスタ2022について、先ほどの説明の中で、対象が小学生という話だったのですが、幼稚園児もキッズに入ると説明があったと思うので、対象は小学生だけでなく、幼稚園児もということですか。

【事務局】

先ほど説明をさせていただいた中で、小学生と説明をさせていただいたのですが、ご指摘いただいた通りです。このイベントは1日の日程の中で、幼稚園の年長から小学校低学年を対象に親子で参加できる『あそびバ!』というイベントがあり、こちらは、ボール遊び等を通じて、スポーツを楽しんでもらう機会を提供する事業となっており、午後から始まる小学校高学年を対象とする『キッズチャレンジ』については、4種目の競技をトップアスリートに教えてもらいながら、進めるということで、本事業の中に幼稚園生を対象とするものと、それから小学生を対象とするものと二つあるというものでございます。説明が足りませんでした。よろしくお願いいたします。

【会長】

その他よろしいでしょうか。令和4年度は、事業が進めていかれるように期待をしたいと思います。よろしくお願いいたします。資料2予算の歳入歳出についてはいかがでしょうか。これも事前承認を得ており、最終確認とのこと。ご意見いただければと思いますけども。スポーツ推進委員について、ユニフォーム代の増額分と書いてあるが、ユニフォームを作成するということですか。

【事務局】

スポーツ推進委員は市から委嘱をさせていただき、担っていただいているということで、コロナでなかなか活動ができない状況もあるかもしれませんが、基本、地域や、市の事業等で、非常に多くの活動をしていただいているということから、その活動に於いて、着用いただきたいユニフォームというのは市から支給をさせていただくというルールでこれまでも進めて参りました。先ほど申し上げたとおり、2年の任期ということで、新たに委員になる方に対しては、こちらで用意をしてお渡ししたいと。予算が厳しいこの状況下

で、可能であれば着用回数が少ない、あまり利用がなかったユニフォーム等は、一度回収させていただき、再利用するというようなところは、首藤会長をはじめとする推進委員の皆様にもご相談させていただいているという状況の中で、今回上げさせてもらっている経緯がございます。以上です。

【会長】

承知しました。

【事務局】

先ほど議会の承認というお話がありましたが、23日が本会議の最終日のためそこで決定となります。今のところ委員会の中では、この案でとっておりますので、23日に最終的には決定となります。

【会長】

それで引き続き、委員の皆さんからご意見を求めたいと思いますけどいかがですか。特段ご意見ないようですか。ないようでしたら重複しますが、令和4年度の事業が、進められることを期待したいと思います。また、歳入歳出についても、予算通り進めていただけたらいいかなと思います。よろしいですか。それでは次、平塚市のスポーツ推進計画について、事務局からご説明いただきます。

【協議事項】

(2) 平塚市スポーツ推進計画について

【事務局】

資料3、平塚市スポーツ推進計画の改定という資料つけさせていただきました。先ほど予算の中で少し説明させていただきましたが、本市が取り組むスポーツの施策を示す平塚市スポーツ推進計画は、平成26年2月に発行いたしました。令和6年2月をもって期間が満了となります。「スポーツを楽しみ、健康で長寿のまち ひらつか」を強く推進するため、本市のスポーツ施策の方針や具体的な事業を定めたスポーツ推進計画を、令和6年3月に改定をする予定です。計画の策定に係る概要を以下の通り示させていただきました。今申し上げた通り策定期間が令和6年3月、計画期間は令和6年度から15年度、これまでの推進計画では5年で見直しを図るというルールの中で進めました。続いて編集発行については、外注する市町もありますが、基本的には教育委員会スポーツ課で進めていきたいと考えています。内容についてですが、基本的にはこれまでの計画に沿ったものとなっておりますが、内容等についてはいろいろ精査をする必要があるだろうということで、ここに列挙しています。計画の概要、趣旨、国や県の動向、総合計画等の位置付け、それから期間等を概要として定めます。また現状と課題としまして、やはり現行と比べると状況は大

きく変わってきています。それからスポーツの環境、現状と課題、こういったものを盛り込みます。それから計画の方向と取り組みとして、平塚市が目指すスポーツの姿というのがこの世の中の動きも踏まえて、少しずつ形を変えていくものなのかなというところも考えながら、今までどおりではなく、しっかり考えていきたいと思っています。それから計画の体形、施策の展開。続いて計画を実現に向けてということで、この推進体制というのをしっかり作って進めていく必要があると考えてございます。また進行管理も必要となりますのでP D C Aサイクルで回すとか、それから将来目標をどのような形で設定するのかというのは、この計画に盛り込まれていくと考えています。今回改定にあたり考慮したい事項といたしまして、今、どこの計画にもこのSDGsというものを絡めながら、事業展開していくことが増えて参りました。将来にわたって設定すべき目標ってというのが今後も続いていくと思いますので、ここは考慮する必要があるだろうと考えています。また、先ほど共生社会でポッチャ推し進めたいというお話もさせていただきましたが、オリンピック、パラリンピックが終了し、今後のレガシーとして引き継いでいく必要があるということも、計画の中には入れていかなければと考えています。また、本市が現状こういった状況でスポーツを進めさせていただいていますが、主体となるものが、市だけでなく、まちづくり財団、また様々な団体とも協力をさせていただきながら、事業の役割分担じゃないですけどもそういったことをしている。ですので、また改めて今回の策定にあたっては見直す必要があると思います。また、策定の工程、計画ですけれども2年を考えております。具体的な計画というのはまだはっきり決まっておりませんが、イメージとしては、庁内関係課との庁内調整、また関係課とのワーキンググループ等を設置する予定です。また、先ほど予算のところでも申し上げましたが、令和4年度はアンケートをとって、平塚市民の方のご意見、それから今どういう状況にスポーツの環境になっているのかというお声を伺いたい。それから、各スポーツの団体にもヒアリング等させていただいて、今後のスポーツがどうあるべきか伺えればと考えています。また、過去ですが、外部識者での、検討会みたいなものを設置しておりました。今回の計画の改定において、どのような形をとるべきかというのはないのですが、少なくとも、本日お集まりの審議会委員の皆様からは、この計画の策定にあたっては、様々なご意見を頂戴したいと思っておりますし、また改めて計画策定のために、外部の委員会を設置するのであれば、審議会委員の皆様の中からどなたかというのは視野に入れているので、具体的なところが決まり次第、皆様にはお諮りし、ご協力の相談をさせていただければと考えております。概要として説明させていただきましたが、過去の策定の方法等を踏まえながら、説明させていただいたもので、まだ具体的ところは、固まったものではありませんので、今後動きがあり次第、皆様にお諮りさせていただきながら、着実に改定に向けて進めて参りたいと考えています。よろしく申し上げます。事務局からは以上です。

【会長】

策定時、「健康長寿のまち ひらつか」を目指して委員の皆様でご協力いただいた方もいらっしゃいますが、すでに8年経ち、後2年で改定ということになります。先ほどもありましたが、今日は今年度最後の会議であり、皆様の任期も最後となります。来年度新しく委員になれる方も含めてスポーツ推進計画の見直しをするということでございますね。このことについて、いかがですかご意見は。よろしいですか。

それでは続いて3その他、スポーツ推進審議会委員の推薦についてということで事務局からご説明いただきます。先ほど申し上げました、今期の任期が本日をもって終了します。委嘱状任期は5月末まででしたが、一応形上は本日で終わりますが、改めて来年度、令和4年度以降の、任期の推薦をいただく説明だと思えます。よろしく申し上げます。

～事務局から説明～

【会長】

団体の皆様ご了解いただきましたでしょうか。それでは、本日の議題は以上となりますので、事務局にお返しするわけですが、着座のまま失礼しますが、改めて任期の期間中、つたない進行をしながら、皆様方にご協力いただきましたことを改めて御礼申し上げます。事務局を含めて、各委員の皆様方本当にありがとうございました。改めて申し上げますけど、来年度以降、委員の改選の方もいらっしゃると思いますが、はっきりしているのは、公募の方は任期満了ということでございますので、青木委員から一言ありますか。

【委員】

任期の2年間ですが、会議で皆様とお顔を合わせるだけでしたがお世話になりました。ありがとうございます。個人的にはベルマーレさんの試合だとかに教室に参加させていただいておまして、皆様の大会やイベントなどにも参加させていただきます。ありがとうございました。お世話になりました。

【会長】

ありがとうございました。そんなことで、一応私としてもこの任期中に拙い進行でありましたが、改めて皆さんにご協力いただきましたことを感謝申し上げます。事務局にお返しします。よろしく申し上げます。ありがとうございました。

4 閉会

以上